

## ● 地域ぐるみで取り組む防災・減災

大規模な災害が発生した時には、行政機関が行う活動（公助）は交通網の寸断や同時多発火災などにより十分対応できない可能性があります。そのため、個人の力で災害に備える（自助）とともに、地域での助け合い（共助）による地域の防災力が重要となります。

<b>自助</b> 自分の命は自分で守る	<b>共助</b> 自分たちの地域は自分たちで守る	<b>公助</b> 市や県、国、防災関係機関が住民等を援助する
-------------------------	------------------------------	------------------------------------

住民同士が協力して地域の防災力を高めよう

## ● 自主防災組織の役割と活動

地域住民が協力・連携し、災害から「自分たちの地域は自分たちで守る」ために結成される組織が“自主防災組織”です。日頃から防災に関する様々な取り組みを行うとともに、災害発生時には被害を最小限に食い止めるための活動を行います。

平常時の取り組み	災害発生時の活動
防災知識・意識の普及・啓発	災害に関する情報の収集・伝達
地域内の防災環境の確認	出火防止及び初期消火
防災資機材の点検・整備	避難誘導、避難所開設・運営
防災訓練の実施	救出・救護
避難計画の検討	避難行動要支援者の避難支援
要配慮者の確認	給食・給水

## ● 防災講習会、防災訓練に参加しましょう

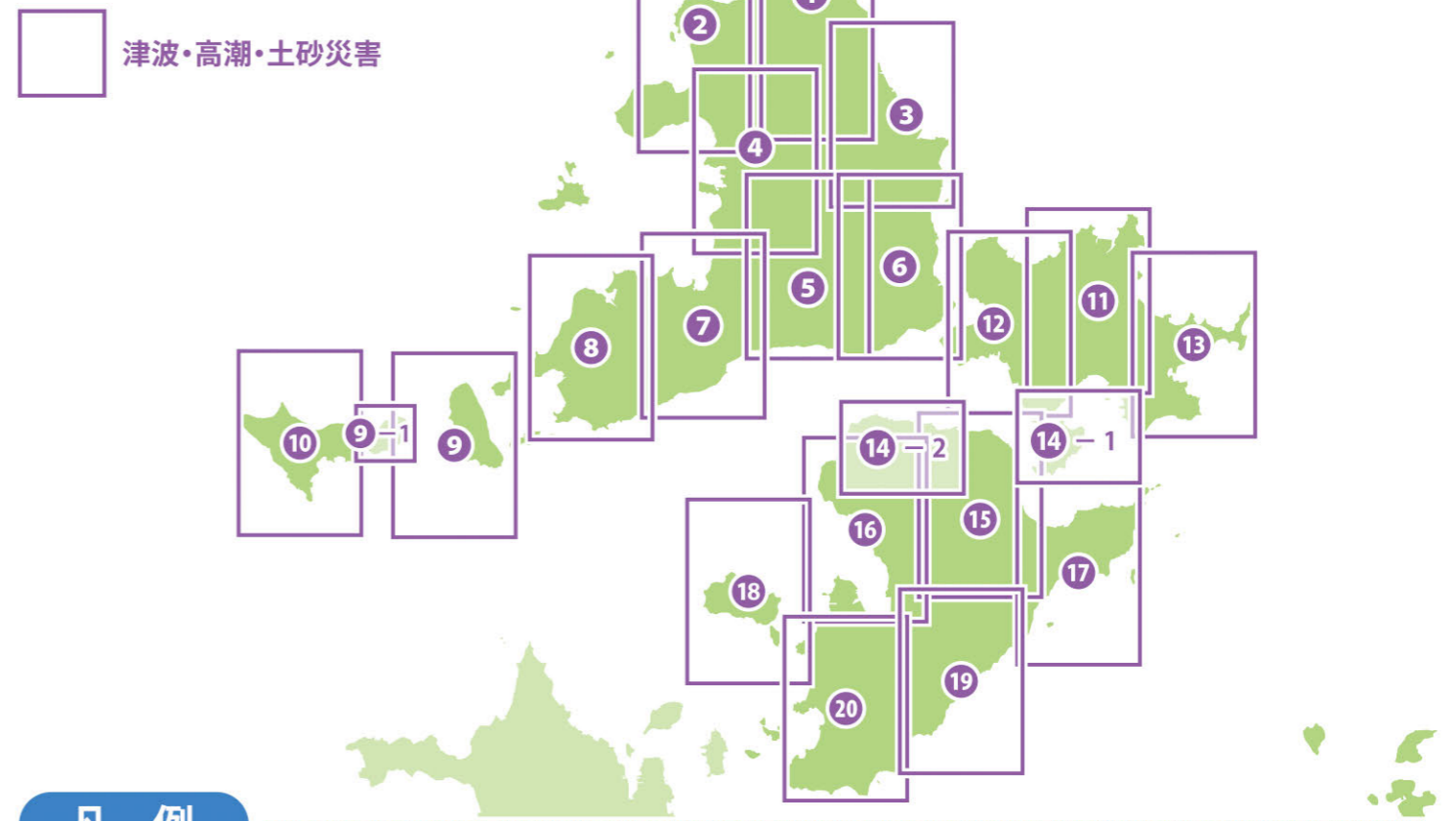


いざというときに落ち着いて的確に行動できるように、日ごろから講習会や防災訓練に参加し、防災に関する知識・技術を覚えましょう。市や地域では、毎年防災訓練を実施しています。防災活動に関する知識や技術を学ぶよい機会なので、ぜひ参加しましょう。また、市では防災に関する出前講座も実施しています。10人以上が参加予定のグループや団体が対象となります。お気軽にお申し込みください。

## 作成条件

- 津波・土砂災害ハザードマップは、南海トラフを震源域とする最大クラスの地震が発生した場合に想定される津波浸水想定区域と、土砂災害のおそれがある箇所を示しています。今治市には、地震発生後最短で**161分後**に+1mの津波が到達します。また津波水位は、最高で標高(T.P.)3.3mとなり、**8時間以上津波は継続**しますので、十分な注意が必要です。
- 高潮・土砂災害ハザードマップは、既往最大規模の台風が発生した場合の高潮浸水想定区域と土砂災害のおそれがある箇所を示しています。中心気圧は室戸台風相当(900hpa)、半径および移動速度は伊勢湾台風相当(最大旋衡風速半径75km、移動速度73km/h)、堤防等は設計条件を超えた段階で決壊することを想定しています。
- このマップで示した浸水想定区域以外でも浸水したり、土砂災害警戒区域以外でも土砂災害が発生したりする場合がありますので注意してください。

## 索引図



## 凡例

<b>浸水深の目安</b> 5.0m以上 3.0m～5.0m未満 1.0m～3.0m未満 0.5m～1.0m未満 0.3m～0.5m未満 0.3m未満	<b>施設等</b> 指定一般避難所 指定緊急避難場所 指定福祉避難所 市役所・支所 警察署・交番 消防署 アンダーパス 高速道路 主要な避難路	<b>土砂災害警戒区域</b> 急傾斜地 土石流 地すべり <b>土砂災害特別警戒区域</b> 急傾斜地 土石流
---	---	--